



VOICE

読者のページ

2024年4月号(52巻4号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

細胞診における非腫瘍性細胞の バリエーションをみる

- どの領域もわかりやすく端的にまとめられており、とても見やすかったです。細胞診の入門書のようにした。
ナオチャン (山口県)
- 「悪性を見つけるには良性のパターンを知ることが大事」という着目点が素晴らしいと思いました。ベテラン細胞検査士からさまざまなパターンを聞く貴重な機会に恵まれた気分です。
EY (東京都)
- 細胞を鏡検する際に、典型的な正常細胞ではないけれど悪性とまでは言い切れない所見の場合、鑑別に悩むことがあります。非腫瘍性細胞のバリエーションの解説が参考になりました。
HY (福岡県)

話題—NEWS&TOPICS

ALT>30 U/L はかかりつけ医受診を

- 健診の季節後は、結果を持ってくる人が増加します。ALT>30 U/L を頭に置いておくと、次につなげやすいと感じました。
CU (埼玉県)
- 「奈良宣言 2023」で作成されたフローチャートはとてもわかりやすく、さらに広がっていくと良いと思いました。
みー太郎 (兵庫県)
- NASHなどの脂肪肝は、腹部エコーをしないと発見しづらい疾患です。ALT>30 U/Lを目安にすることで早期発見につながるので良いと思います。
KN (大阪府)
- 患者さん向けの講座を開く機会があるので、話してみようと思います。
コウベノサウナー (兵庫県)

MT Seminar

シリーズ 日常のなかの例外・トラブル対応 4. 採血時トラブル対策

- 採血は検査の入口で、とても重要な業務だと思います。日常的にさまざまなトラブルに直面する可能性のある現場でどのように対応していくか、検査室としてしっかり見つけ直したいです。
Y・M (高知県)
- 採血手技について、詳しく知りたいところまで書かれていて、とても勉強になりました。繰り返し熟読して業務に臨みたいです。
ビューティ (新潟県)
- 認知症や麻痺のある患者さんが多く、採血時に協力を得られないことや、検体不良、トラブルが起きやすいことがあるので、大変参考になりました。採血ミーティングは早速取り入れました。
HH (兵庫県)

FOCUS

不妊治療と臨床検査技師の役割

- 自分自身も不妊になる可能性もあるので、大変興味深く読めました。胚培養士がどんなことをしているのか、具体的に知りたくなりました。
〇〇 (福岡県)
- 最近、胚培養士の資格をもっている臨床検査技師の需要をよく耳にするので、興味をもっていました。未知の部分が多く、勉強になりました。
HY (福岡県)
- Essenceの言葉通り、不妊治療の保険適用や、さまざまな要因による出生率の低下から、不妊治療は今後いっそう注目を集めるのではと思っていました。胚培養士について調べてみましたが、かなり神経を使う大変な仕事という印象を受けます。
さんきち (山口県)

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

